

O-A-1 基調講演

勝者のシステム ～ラグビーに学ぶ、強い組織の創造

1963年京都市生まれ。中学入学と同時にラグビーを始める。同志社大学在学中、史上初の大学選手権3連覇に貢献。86年に株式会社神戸製鋼所に入社。入社3年目よりチームを7年連続日本一に導くほか、87、91、95年のワールドカップに、3大会連続して出場。91年時はキャプテンを務め、日本代表初勝利を飾る。日本代表キャップ35。現役引退後は、97年から2000年まで日本代表監督を務め、99年のワールドカップにチームを導く。現在は、神戸製鋼ラグビー部では、ゼネラルマネージャーとしてチームの運営にあたる一方で、2000年、「スポーツに関心を寄せるすべての人々のコミュニティの健全な発展に寄与する」ことを目的に、特定非営利活動法人 スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構(略称SCIX)を設立し、理事長に就任。11年7月～15年3月まで文部科学省中央教育審議会委員。15年5月(財)ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事務総長特別補佐に就任。15年6月(財)日本ラグビーフットボール協会 理事に就任(再任)。



神戸製鋼ラグビー部  
ゼネラルマネージャー  
元ラグビー日本代表監督  
平尾 誠二 氏

9:30  
|  
10:30

O-A-2 基調講演

「科学技術で社会に貢献する」を目的に  
“ものづくり140年”  
～革新的技術の創出で真のグローバル企業を目指す

1945年鳥取県生まれ。69年3月大阪府立大学工学部 電子工学科卒業。同年4月島津製作所入社、主に液体クロマトグラフの開発に携わる。品質保証部長、LC部長、分析機器事業部長などを歴任し、2001年取締役就任。専務取締役就任後は社長補佐・リスクマネジメント・広報・経理・法務などを担当し、09年代表取締役社長。15年6月より代表取締役会長。一般社団法人日本計量機器工業連合会会長、一般社団法人日本分析機器工業会副会長、学校法人島津学園理事長も務める。



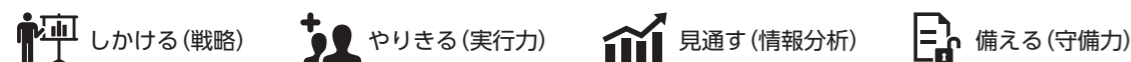
株式会社島津製作所  
代表取締役会長  
中本 晃 氏

10:45  
|  
11:45

ランチ

	ガバナンス・戦略	グローバル	会計・業種別
12:45   13:45	<p>O-A-3 取締役会の役割を踏まえ何を審議すべきか ～変革期にある日本企業の取締役会</p> <p>有限責任監査法人 トーマツ シニアマネジャー 山内 達夫</p>	<p>O-B-3 TPP・AECで激変する国際通商ルールが経営に与えるインパクトを紐解く ～短期利益創出と中長期競争優位獲得に必要な2つのアプローチ</p> <p>デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パートナー 羽生田 慶介</p>	<p>O-C-3 地域別セッション 地域包括ケア時代の医療ビジネス戦略 ～医療制度の現在と医療ビジネスの今後</p> <p>有限責任監査法人 トーマツ パートナー 竹内 友之</p>
14:00   15:00	<p>O-A-4 コーポレートガバナンスから見たあるべき役員報酬を考える ～指名・報酬委員会の導入を踏まえたトータル・デザイン</p> <p>デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パートナー 村中 靖</p>	<p>O-B-4 インフラ輸出の新たな視点と企業が持つべき戦略シナリオとは何か ～アジア太平洋地域の安全保障経済政策の影響とその対応</p> <p>デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パートナー 兼 パシフィックフォーラムCSIS (戦略国際問題研究所) シニアフェロー 國分 俊史</p>	<p>O-C-4 収益認識基準を読み解く ～“売上高”へ影響する会計基準の改訂動向</p> <p>有限責任監査法人 トーマツ パートナー 古内 和明</p>
15:15   16:15	<p>O-A-5 リスクの観点からM&amp;Aを成功に導く要諦をつかむ ～ビジネス関連、不正、コンプライアンスリスクにどう対応すべきか</p> <p>デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社 パートナー 前田 善宏 ディレクター プレポスト 真由美 有限責任監査法人 トーマツ パートナー 柳澤 良文</p>	<p>O-B-5 世界が目指すイノベーションの最前線から学ぶ ～データアナリティクスで競争力を生み出す企業とは</p> <p>有限責任監査法人 トーマツ ディレクター 神津 友武 シニアマネジャー 泉 晃</p>	<p>O-C-5 地域別セッション 投資・固定資産情報を管理してグループ・ガバナンスを強化する ～固定資産情報の見える化によるグループ資産効率向上と不正防止強化</p> <p>有限責任監査法人 トーマツ パートナー 黒田 雅美</p>

変革に必要な4つの勘所「しかける(戦略)」、「やりきる(実行力)」、「見通す(情報分析)」、「備える(守備力)」をデロイト トーマツのプロフェッショナルが、それぞれの専門領域から解説します。



ガバナンス・戦略

O-A-3

取締役会の役割を踏まえ何を審議すべきか  
～変革期にある日本企業の取締役会

有限責任監査法人 トーマツ シニアマネジャー 山内 達夫



改正会社法で創設された監査等委員会設置会社に200社超の上場企業が移行したり、コーポレートガバナンス・コードの適用を契機に独立社外取締役の導入・増員が進むなど、日本企業の取締役会を取り巻く環境は、今まさに変革の時期にあります。取締役会の役割・責務は企業統治形態によっても異なりますが、そもそも役割・責務が何か、定義されていない企業も見受けられます。そのうえで、取締役会は役割・責務を果たすために何を審議すべきなのでしょう。執行側が上申した議題について意見を述べることで、取締役会の役割を果たしているといえるのでしょうか。また、昨今の企業不祥事例の第三者委員会報告書などにおいて「取締役会にどのような機能を求めているのか」事例から得られる示唆をふまえて、取締役会の議題として審議すべき事項や、取締役会が報告を受けるべき事項について解説します。

グローバル

O-B-3

TPP・AECで激変する国際通商ルールが経営に与えるインパクトを紐解く  
～短期利益創出と中長期競争優位獲得に必要な2つのアプローチ

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パートナー 羽生田 慶介



日本中の耳目を集めたTPP交渉が2015年ついに大筋合意を迎え、AEC(ASEAN経済共同体)も同年末に具現化しました。これらによる「自社への影響は」という問いに対して、「不明」や「軽微」という回答が少なくないことは、交渉が不成功だったからではありません。理由はひとつ、難解な協定文書を読み解いてビジネスへの示唆を出す「通商とビジネスの間の翻訳」ができていないからに他なりません。本セッションでは、TPP・AECの影響を業界別に具体論で語るとともに、短期利益創出のためのFTA使いこなしソリューションの紹介と中長期競争力強化のためのルール形成の考え方について論じます。

ガバナンス・戦略

O-A-4

コーポレートガバナンスから見たあるべき役員報酬を考える  
～指名・報酬委員会の導入を踏まえたトータル・デザイン

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パートナー 村中 靖



2015年6月より、コーポレートガバナンス・コードの適用が開始されましたが、本コードは役員報酬との関係では、必ずしも網羅的、明示的ではないため、ガバナンスの効いたあるべき役員報酬制度を策定することは容易ではありません。本セッションでは、ガバナンスの進んだ米英の動向を参考としてコーポレートガバナンス・コードと役員報酬制度との関連性を読み解きつつ、報酬戦略に合致した報酬構成、中長期インセンティブなどの役員報酬制度の見直しに加え、指名・報酬委員会の導入の具体的なポイントについて説明します。

グローバル

O-B-4

インフラ輸出の新たな視点と企業が持つべき戦略シナリオとは何か  
～アジア太平洋地域の安全保障経済政策の影響とその対応

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パートナー 兼 パシフィックフォーラムCSIS (戦略国際問題研究所) シニアフェロー 國分 俊史



AiIBの台頭の本質は、論理的思考だけでは世界が見通せなくなった時代の到来です。そして、AiIBへのカウンター要素が強まっているTPPの更なる進展は、アジア太平洋地域におけるアメリカの安全保障経済政策の視点を理解して外部環境を読み解くことが不可欠です。しかし、どれだけの日本企業が米国リバランスの本質をしっかりと理解し、経営戦略の前提条件に反映できているのでしょうか?本セッションではAiIBと米国リバランス下で日本がインフラ輸出を成功させる戦略の新たな切り口を紹介しします。

ガバナンス・戦略

O-A-5

リスクの観点からM&Aを成功に導く要諦をつかむ  
～ビジネス関連、不正、コンプライアンスリスクにどう対応すべきか



デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社 パートナー 前田 善宏  
ディレクター プレポスト 真由美  
有限責任監査法人 トーマツ パートナー 柳澤 良文

近年、日本企業にとってM&Aは身近なものになりつつあります。M&Aの成功のために必要な調査や準備は当たり前に行われるようになりました。しかし一方で、市場環境の変化を受けたビジネスリスク、不正リスク、コンプライアンスリスクなど、対応しなければならないリスクが数多くあるのも事実です。M&A実行時には想定していなかった問題や企業イメージを損なう不祥事の発覚といった事例も少なくありません。そこで、M&Aを行う際にこれらのリスクをどう管理するかについて、それぞれのリスク管理の観点から専門家が解説します。

グローバル

O-B-5

世界が目指すイノベーションの最前線から学ぶ  
～データアナリティクスで競争力を生み出す企業とは



有限責任監査法人 トーマツ ディレクター 神津 友武  
シニアマネジャー 泉 晃

IoT、人工知能やFintechなど、企業の競争力強化にはイノベーションが欠かせないものとなりつつあります。近年のイノベーションには、テクノロジーとデータアナリティクスを要素とする事が多く、イノベーションを企業の土壌として根付かせるには、客観的なデータに基づくインサイトからの意思決定プロセス求められます。本セッションでは、各業界における世界の最新事例をご紹介した上で、企業が一体となりイノベーションに取り組むのに必要となる、データアナリティクスをDNAとする企業へ変わるためのノウハウをお伝えします。